

まちの話題



8月6日小雨の中、花火大会が湯之尾滝で開催されました。5,000発の花火が真夏の夜空に咲き、約5,000人の観客を魅了しました。



◀花柄じんべいで揃えました♡

花火大会

ISASI 夏祭り



▲司会の“ビューティメーカー”



▲アンフィニー

7月30日に、伊佐市夏祭りが大口商店街を通行止めにして、パレードに21団体、市民総踊りに31団体、合わせて2,000人を超える市民により盛大に開催されました。

伊佐市出身（竹之内さん・写真左）のお笑いコンビ“ビューティメーカー”を総合司会に、舞台ではアンフィニー（大口高校の先生+その仲間たち）・和太鼓衆鼓動塾の演奏や平江竜也さんのボイスパーカッションが行なわれ、来場された観客は聞き入っていました。



▲炎天下の中、汗とかけ水でびしょり！

▼踊りも、それぞれの衣装も素敵です。



「人呼ぼうの前にゴミ予防」

アルピニスト野口健講演会



NPO ISART が企画、ボランティアと一体となって開催した講演会。

生と死が隣り合わせの過酷な世界で冒険を繰り返す野口健さんの言葉「あきらめない、それが冒険だ」が印象的でした。

皆が望むのは、子どもたちへ美しいまちを引き継ぐことです。

7月に開催された「アルピニスト野口健講演会」には、市内外からたくさんの人が集まりました。

「最近、登山家というより、ゴミ拾いの人と言われてしまう。」そう語り、観客の笑いを誘った野口さん。ユーモアたっぷりの講演会終了後には、サイン会も行なわれ、彼の本を手にしたファンが行列をつくりました。

講演会前に報告された地元有志のゴミ拾いの様子では、緑豊かなわがまちに目を覆いたくなるようなゴミが溢れている現状が映し出されていました。

大規模な災害時の被害の拡大を防ぐために！



8月17日、伊佐市と国土交通省九州地方整備局は、「伊佐市における大規模な災害時の応援に関する協定」を締結しました。

これにより、大規模災害が発生または発生するおそれがある場合に、市からの要請により、ヘリコプターからの被害状況のライブ映像の提供、現地情報連絡員の派遣、河川・道路復旧工法の検討支援、災害復旧申請に関する支援、建設機械による支援などの協力が得られ、迅速な応急対策が行なえるようになります。

被害の拡大や二次災害の防止を目的とする取り組みとして期待されます。

関西かごしまファンデー



関西地区に在住する鹿児島県出身者の親睦を深め、関西圏に鹿児島の魅力を紹介する「第7回関西かごしまファンデー」（関西鹿児島県人会総連合会主催）が6月19日、大阪市西区の京セラドーム大阪で開催されました。

伊佐の特産品は、来場者（約3万人）に好評で、「関西伊佐の会」の会員のご協力もあり、伊佐の魅力を十分にアピールし大盛況でした。

冷静な対応で人命救助



7月27日、伊佐湧水消防本部から表彰を受けたのは、小園克雄さん（大口・59歳）。

水之手川の水門係をしている小園さんは、7月豪雨の際、水門の操作中に、冠水した道路で流される車と車から出ようとする女性を発見。「危ない!」と思い、水の中へ飛び込んだ小園さんは、興奮状態の女性を落ちつかせながら、消防が来るのを待ち、無事、消防署員に救出されました。

冷静な対応が、被害を最小限に食い止め、人命を救いました。

全国水土里ネット表彰式



県内で最大の受益面積・組合員数の“菱刈土地改良区”が、非農家と一体となった共同活動や生き物調査による環境教育等について他の模範となる活動として認められ、農林水産大臣賞を受賞しました。

ボランティア清掃



次の団体が、ボランティア作業を行ってくださいました。

○鹿児島県建設業協会大口支部

（市道・国道の除草作業）

○㈱日本ピュアフード

（曾木の滝周辺のゴミ拾いなど）

暑い中での作業ありがとうございました。

戦没者追悼式



戦後66回目の終戦記念日である8月15日に第3回伊佐市戦没者追悼式が伊佐市文化会館で行なわれました。

1分間の黙祷の後、遺族会会長や遺児代表者の追悼のことが述べられました。

追悼のことは、3月11日発生の日大本震災被災地への復旧復興の願いもこめられ、恒久的な平和が祈られました。

世界に向かって



菱刈カヌー競技場で8月4日～14日まで、カヌーの夏合宿「地球レベル」が行なわれました。

毎年、九州カヌー連盟では冬合宿を行なっていましたが、今年は初めての夏合宿を開催しました。

県内外からレベルの高い選手が参加し、世界に向けて朝早くから練習に励みました。